



オペラハウス

『シドニー、ウルル、メルボルンの旅』

G7広島を終日、オーストラリアに約二週間行つてまいりました。シドニーのオペラハウスの上空には「welcome module」の飛行機雲が浮かんでいました。G7広島が終わるとすぐにインドのモディ首相は「シドニーに来られたのでしよう。今や中国、ロシアの勢力拡大に迎え撃つアメリカ・西洋諸国、それを静観するインドの世界情勢のなか、OJAD(クワッド)(日米豪印戦略対話)の国々は日本にとつてとても重要な国に思えます。

ウルルエアーズロックの道端では原住民のアポリジニの人達がお土産を道に並べて売っていました。土産を購入すると、「私たちと一緒に写真を撮っても構わないですよ。」と言われ、撮った後、握手した彼女の氷のように冷たい手が、今でも私の手の中に握られています。

彼女たちは保護区でどんな生活をしているのでしょうか、あの場所に行った観光客をどんな目で見ていたのでしょうか、利益を追求する資本経済とは云え、保護される意味を問いかけるとともに、自由を享受できることは本当に有難いことだとつくづく感じました。

メルボルンには1週間滞在しました。45年前に一人でヨーロッパ各国を放浪の旅をした時には、どこに行つても日本人だらけでした。しかし今回の旅では、日本人に出会うことはほとんどありませんでした。多くはインド、アフリカの人たちです。45年前の高度成長期の幕開けの日本と、ソフトランディングしている今の日本の変貌を垣間見たようです。

私は次世代の若者が世界の舞台の上で躍動する姿を夢見ます。「がんばれば日本、がんばれば若者」と、それにしても戦後の団塊世代の方々が日本を世界に知らしめた努力には頭が下がります

株式会社 ウイズアート

代表取締役 伊藤弘幸

たてもの見聞録

～ 広島城 in 広島～



広島城は別名「鯉城」と呼ばれ、毛利輝元が、1589年(安土桃山時代)に築城を開始しました。それまでは城といえば山間に築かれた「山城」が主流でしたが、戦国時代が終わると、水陸の交通の便の良い場所に作られるようになりました。太田川のデルタ地帯に建つ広島城は日本三大「平城」の一つです。

広島城下絵屏風 (広島市指定重要有形文化財)



城下に暮らす人々の生活の様子が生き生きと描かれ、当時の生活を垣間見ることができます

1945年の原爆で、国宝に指定されていた木造の城は破壊されますが、1958年に天守閣がコンクリートで再建されました。近年、天守閣を木造で復元しようという機運が高まっています。

現在では近代以前の工芸品を展示したり、武士の甲冑を身に着けるなどの体験型アクティビティを提供したりする博物館となっています。天守閣からの広大な眺めは、広島で見られる素晴らしい景色のひとつです。



「春夏秋冬」四季折々に撮影しました。どの角度から見ても美しい姿です。(K.M)

日本の「住まい(住舞)」

～ 屋根の歴史 ～



近世の古民家の茅葺のように復元された**縄文時代**の住居が、**土屋根**が主流ではないかと、近年の発掘や研究でわかってきました。土屋根は風が入らず、保温性が高いそうです。登呂遺跡では水田と集落が一体となって確認され、水田稲作のイメージと共に茅葺屋根も定着したようです。**屋根を葺く素材**としては、身近な自然のもの、**土や草**を用いていたことには変わりありません。

屋根の形はというと、「家屋文鏡」、「家形埴輪」等から、すでに**古墳時代**から**切妻(きりづま)屋根**、**寄棟(よせむね)屋根**、**入母屋(いりもや)屋根**などが使われていたことがわかり、これらの屋根の形を屋根の基本形といいます。



家屋文鏡
(かおくもんきょう)

←奈良県佐味田(さみた)宝塚古墳から明治14年に出土したもの。鏡背には、それぞれ異なる四棟の建物を描かれている。この四棟の建物を何と見なすかについては諸説あるが、**古墳時代**の首長居宅における建物群との関連も指摘されている。



家屋埴輪



そして、**飛鳥時代**に仏教伝来とともに「瓦」が伝わります。「瓦」の文字は中国で生まれた象形文字で、遺物としての最古の瓦も中国周の時代(約3000年前)のものだそうです。「日本書紀」によれば、崇峻天皇元年(588)に、百濟から僧、寺工、鑪(たたら)盤博士、画工とともに4人の瓦博士が渡来したといわれています。蘇我馬子はこれらの工人を中心に大和平野南部飛鳥の地に飛鳥寺(596年完成)を造ります。その後、造寺運動が進み瓦葺きが増え、**奈良時代**には、地方にも重要な建物に瓦葺きが普及しますが、**平安時代**になると使用量が減少します。代わりに**檜皮(ひわだ)葺(檜の樹皮を使用)**が使われるようになります。檜皮葺はもともと日本的なもので、宮殿や寺院などに使われていました。本瓦葺きによる雨漏りや台風による被害による批判、また屋根の形が複雑になると雨仕舞の難しい瓦葺きが敬遠され、反対に自由な曲線が作りやすい檜皮葺が歓迎されたといわれています。(つづく)

～ 屋根いろいろ ～



1995年にユネスコ世界遺産に登録される。「結」という住民同士の相互補助で20年から30年に1度、正三角形に近い屋根を葺き替える。現在の材料はススキ(オオカヤ)梁には雪の重みに耐え成長した木を利用している。



日本総鎮守と呼ばれる。御祭神は天照大神の兄神で、海上安全の守護神。境内中央には樹齢約2,600年の神木である大楠が鎮座している。宝物館には、全国の国宝・国の重要文化財の指定を受けた武具類の8割が保存展示されている。



現在使われている本瓦葺の瓦は**室町時代**に完成したという。法隆寺などの専属瓦大工たちが伝統を守り続け、また新しい瓦も考案した。



ウイズアートの屋根施工



【I様邸新築工事】

屋根はガルバリウム鋼板。LIXILスーパーウォール工法で高断熱、高气密となっています。外観もスタイリッシュ。屋根を大きく南側に向け、太陽光パネルを設置しました。太陽光発電による電気で、屋間の電気代はまかなっておられるようです。

●ガルバリウム鋼板は、アルミニウムと亜鉛・シリコンで構成されたメッキ鋼板です。アルミニウムの耐食性と亜鉛の紡織作用で長期にわたり錆を防ぐことが特徴で、耐用年数は、25年から30年とされています。

【Y様邸古民家再生】

100前の民家の改修に似合う瓦を選びました。KmEWのROOGA「鉄平」(樹脂繊維混入軽量セメント瓦)を使用。重厚感、高級感を残したまま軽量化された瓦です。従来の陶器平板瓦の役1/2の重量のため地震対策にも有利、その他台風性能、強靱性能にも優れ、30年相当の超促進対候性試験も実施しています。



O様邸

着工前



屋根下地材施工中



完成

【O様邸屋根及び外壁明装工事】

屋根葺きはニチハ(株)の「超高耐久横断ルーフαプレミアムS」を使用しました。一般的な金属製屋根材とは違い、遮熱鋼板(塗装高耐食GLめっき鋼板)と断熱材(硬質ウレタンフォーム)を一体成型した屋根材です。サビに強く丈夫、軽量で地震に強く、一年を通して優れた断熱性能を発揮します。変色・褪色、塗膜、赤錆、穴あき、20年保証です。



H様邸

施工中



完成

【H様離れ改修工事】

日本の田園風景には、やはり「日本瓦」がピッタリです。石州陶器瓦を使用。石州瓦は島根県石見地方で生産。1300度の非常に高い温度で焼き上げるので、頑丈で、冷害や塩害にも強い瓦です。

～ ウイズアートの現場から～



【東野公民館福祉環境設備その他工事】～安佐南区～（竹本・伊藤敬）
東野公民館にエレベーター設置の為、エレベーター棟の増築と非常階段を新設しました。5ヶ月の工事でした。



【広島県立安芸南高校体育館雨漏り補修工事】～安芸区～（伊藤敬）

【(株)T 階段長尺シート貼替工事】～坂町～（伊藤）
階段タイル・クロス・床貼替えをしました。

【S様邸サッシ取替工事】～安佐北区～（伊藤）内窓を取付しました。



【Kマンション（賃貸）改修工事】～安佐南区区～（丸口） 築約40年の賃貸マンションの全改修です。今回は若い方をターゲットに、対面キッチンに変更、タイル張りの浴室はユニットバスに改修。和室は全てクローゼット付の洋間に仕上げました。部屋にはアクセントクロスを貼り、シックな雰囲気仕上がっています。



【I様邸襖仕立て直し工事】～安佐南区～（伊藤）お客様の実家の思い出を手元に残したいというお話から「襖」を「屏風」に仕立て直しました。

【駐車場オーバーレイ舗装工事】～東区～（伊藤）
駐車場の舗装及び区画線引きしました。

Kマンション
内覧動画

「Kマンション内覧動画」
「広島城天守閣上階からの風景撮影」
をウイズアート公式YouTubeにてUPして
おりますので是非ご覧ください☆



広島城天守閣
上階より撮影



総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

ウイズアート
-Uizu.Art-

広島市中区竹園町 1-17 TEL.082-247-0062 ウイズアート広島 株式会社

Hiroshima Castle in Hiroshima City



Hiroshima Castle

Nicknamed "Carp Castle". It was built by Terumoto Mori (1553-1625). The location for the castle, on the Ota River delta, was chosen because the flat land was relatively easy to build on and defend.



Hiroshima castle picture folding screen



The atomic bomb of August 1945 destroyed the timber-built castle. In 1958, the castle tower was reconstructed in concrete, and is now a museum displaying mainly pre-modern artifacts and offering hands-on activities such as the chance to try on samurai armor. The sweeping view from the top of the tower is one of Hiroshima's finest.

I took the picture for each season.

You can enjoy the beautiful scenery of each season.(K.M)
 Qrcode : The view from the Castle.



~Corporate Philosophy with Uizu Art~

Joy together, Support eachother

General construction

First-class architect office



-Uizu·Art-



UIZU.ART
Instagram